

南部・東部振興の主な取組

令和2年6月

奈良県

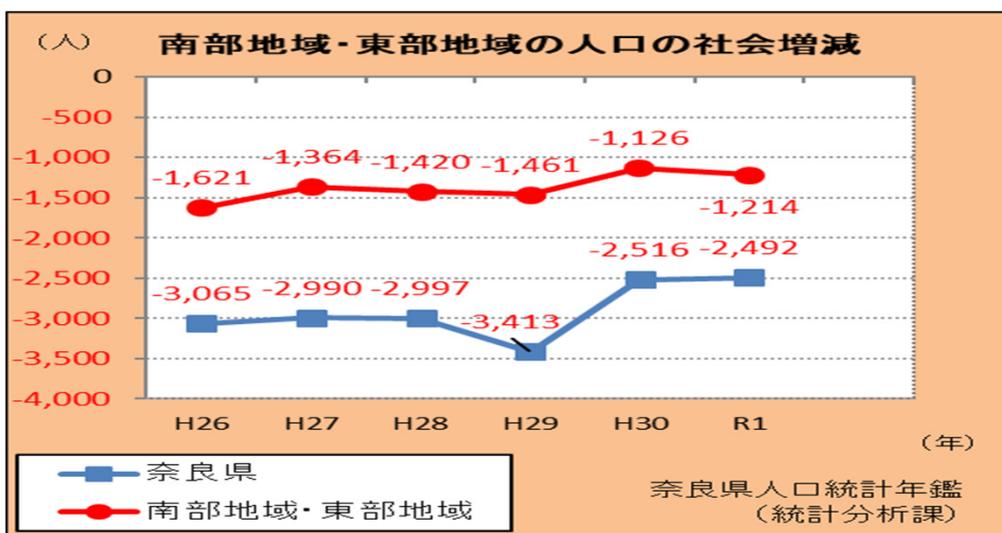
平成27年3月に策定した「奈良県南部振興基本計画」及び「奈良県東部振興基本計画」に基づく目標指標の進捗状況や令和2年度主要予算等についてとりまとめたものです。

頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる 南部地域・東部地域の振興

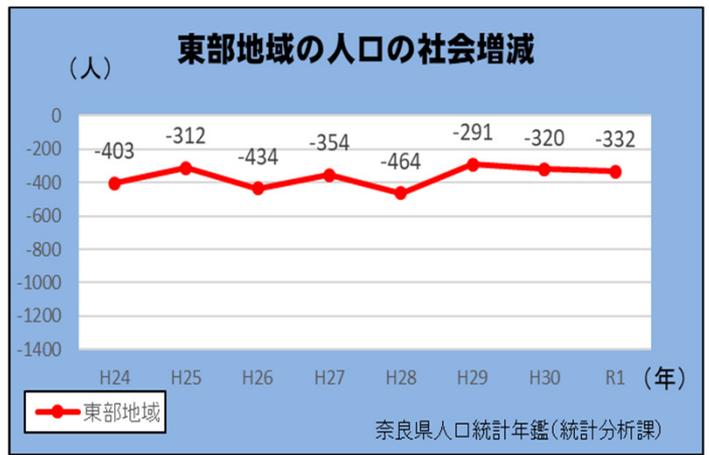


目指す姿

目標：2020年度までに、**南部地域・東部地域の人口の社会増減**を**プラス**にします



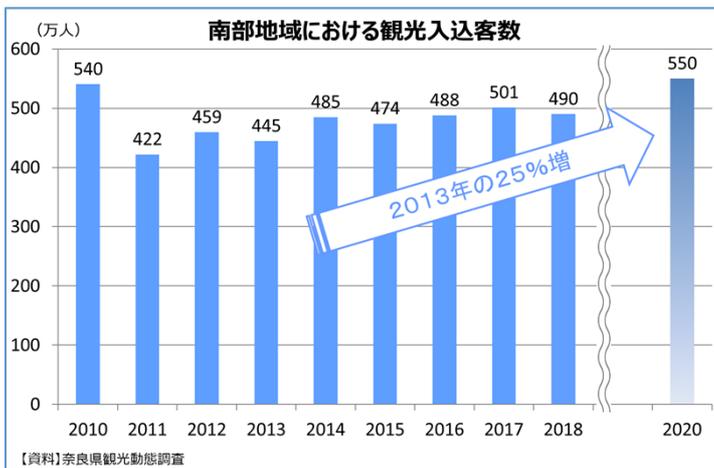
南部東部地域の社会増減は、依然としてマイナスとなっていますが、令和元年は県外への転出者が増加したため、全体の社会増減の数値を少し押し下げています。



県内外からの転入は増加傾向ですが、県外への転出者が増加したため、社会減がやや拡大しています。

県外からの転入者が増加傾向ですが、県内への転出者も増加したため、横ばいとなっています。

目標：2020年の観光入込客数を南部地域550万人、東部地域280万人にします



6～8月は大阪府北部を中心とする地震や台風の影響による減少が見られた一方、3月は桜の開花時期の早まりによる増加、10月は前年の台風の反動による増加が見られました。年間を通しては南部地域で2.2%の減少、東部地域では1.1%の減少となりました。

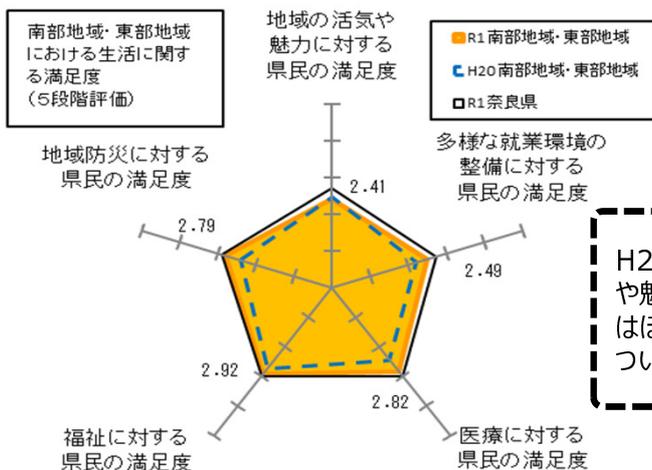
目標：2020年の宿泊客数を南部地域55万人、東部地域15万人にします



山間地が多い地域であり、アウトドア志向の宿泊客に人気が高く、イベント等も実施していますが、大雨や台風、異常な猛暑といった天候不順により、南部地域では13%の減少、東部地域では21.4%の減少となりました。

目指す姿を達成するための取り組み状況

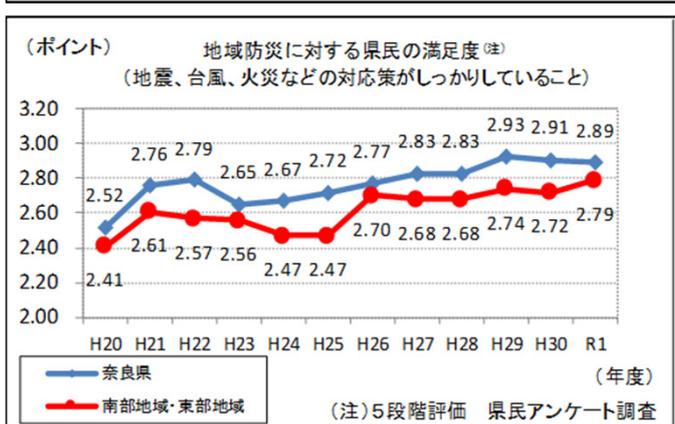
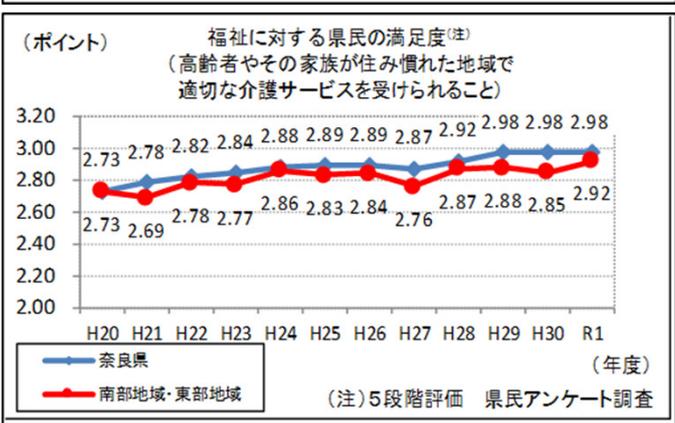
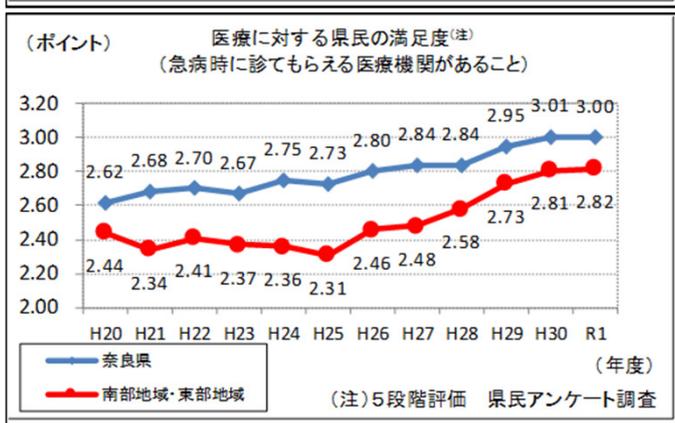
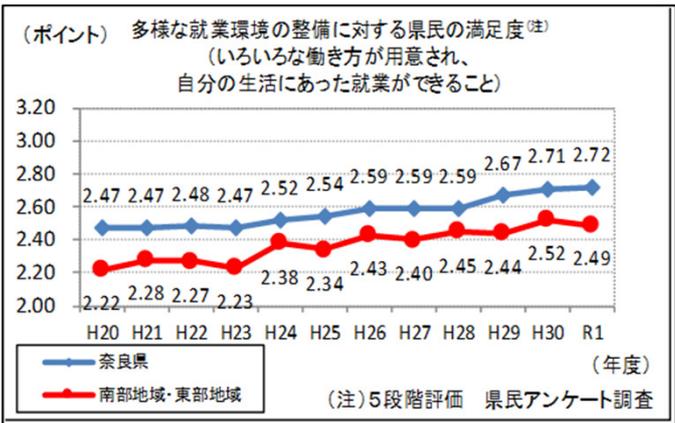
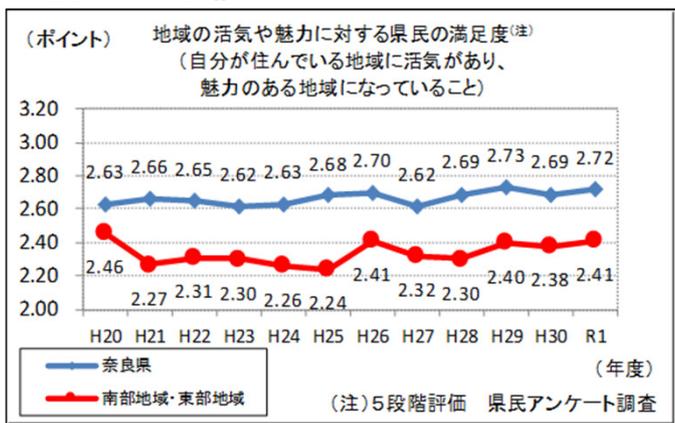
《現状》



H20と比較すると、「地域の活気や魅力に対する県民の満足度」はほぼ横ばいですが、他の項目についてはいずれも上昇しています。

(注)「南部地域・東部地域の振興」については、全国と比較できる指標がないため、県民アンケート調査における県民の満足度をレーダーチャートで示しています。

《トレンド》



- ・災害に強いインフラづくりの推進により、南部東部地域の地域防災に対する満足度が上がっています。
- ・雇用の掘り起こしとマッチング支援や、女性・高齢者の就業支援等により、南部東部地域の多様な就業環境の整備に対する満足度は上昇傾向にあります。が、伸び悩んでいます。
- ・地域医療提供体制の整備が進みつつあること等により、南部東部地域の医療に対する満足度が上がっています。
- ・福祉に対する満足度は平均して高く、県平均とほぼ同じ満足度となっています。

(南部・東部振興関係)

令和 2 年度当初予算 (令和元年度 2 月補正予算含む)

38,845 百万円

【 令和元年度当初予算 (令和元年度 6 月補正及び平成30年度 2 月補正予算含む)

35,056 百万円 】

※R1当初予算については骨格予算であったため 6 月補正予算を含めて記載

(南部・東部振興のための取組の戦略)

※下記事業は再掲を含むため合計は上記と一致しません

戦略 1. 訪れてみたくなる地域づくり (交流の促進)

(1) 魅力を発見する、創る (P7) 778 百万円

- ・特色ある食と宿泊施設等の整備推進 (67)
- ・美しい景観づくり (18)
- ・地域資源を活用した魅力づくり (180)
- ・多様なスポーツ施設の整備 (513)

(2) 知ってもらふ (P9) 480 百万円

- ・情報発信の強化 (480)

(3) 訪れてもらふ、体験してもらふ (P11) 23,417 百万円

- ・スポーツイベントの開催 (41)
- ・音楽・芸術イベントの実施 (176)
- ・地域資源を活用したイベントの開催 (92)
- ・交通アクセスの支援 (22,600)
- ・おもてなし力の向上 (211)
- ・誘客促進の仕掛けづくり (297)

戦略 2. 住み続けられる地域づくり (定住の促進)

(1) 働きやすくする (P13) 5,079 百万円

- ・農産物等のブランド化、生産拡大の推進 (2,028)
- ・「全ての材を出して使う」林業・木材産業の推進 (1,204)
- ・漢方のメッカ推進 (32)
- ・企業誘致の推進 (134)
- ・地域の産業興し (1,681)

(2) 暮らしやすくする (P17) 2,155 百万円

- ・健康、医療、福祉、介護の充実 (1,229)
- ・教育の充実 (68)
- ・子育て、買い物等の支援 (40)
- ・移動手段の確保 (625)
- ・文化の振興 (176)
- ・集落の維持、活性化 (17)

(3) いざというときに備える (P19) 39,279 百万円

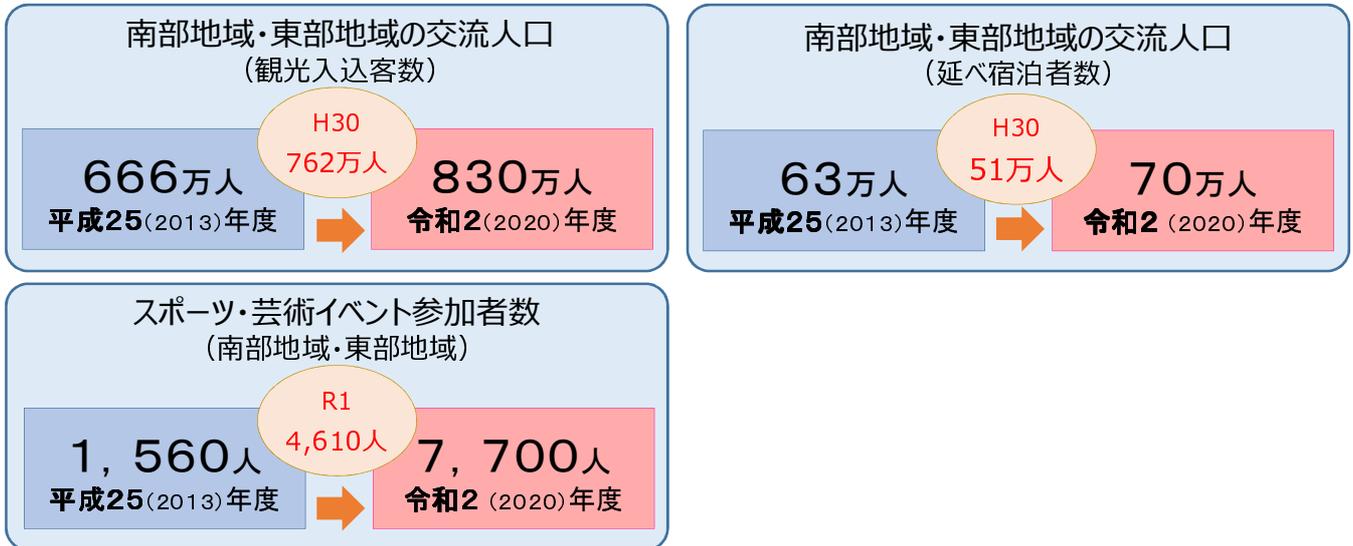
- ・紀伊半島アンカールートの整備 (7,421)
- ・効率的、効果的な道路防災対策の推進 (20,407)
- ・土砂災害対策の推進と山地災害の予防と復旧 (7,102)
- ・防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承 (285)
- ・紀伊半島大水害の復旧の完了 (2,047) など

(4) 移り住んでもらう (P23) 150 百万円

- ・二地域居住、移住を受け入れる仕組みづくり (50)
- ・二地域居住、移住を受け入れる拠点整備事業 (17)
- ・移住者の働く場の確保 (83)

頻繁に訪れてもらえる地域づくりを進め、南部地域・東部地域での**交流を促進**します

戦略目標



具体的な取組

魅力を発見する、 創る

- 特色ある職と宿泊施設等の整備推進
- 美しい景観づくり
- 地域資源を活用した魅力づくり
- 多様なスポーツ施設の整備

知ってもらう

- 情報発信の強化

訪れてもらう、 体験してもらう

- スポーツイベントの開催
- 音楽・芸術イベントの開催
- 地域資源を活用したイベントの開催
- 交通アクセスの支援
- おもてなし力の向上
- 誘客促進の仕掛け作り



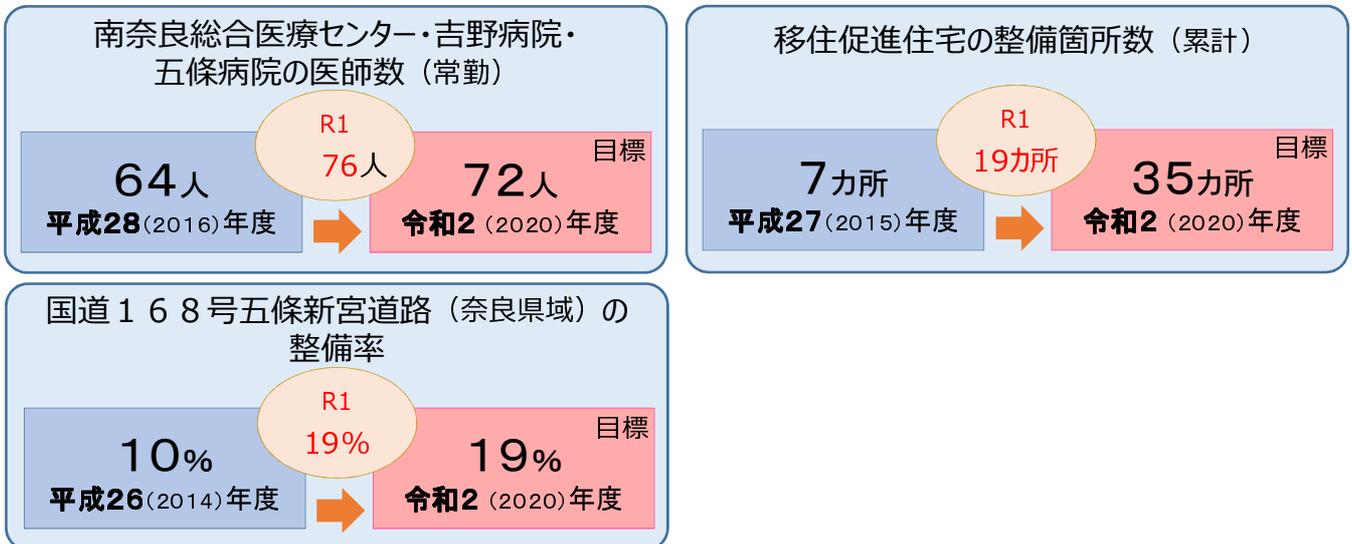
KoboTrail～弘法大師の道～



えんがわ音楽祭(天川村)

住み続けられる地域づくりを進め、南部地域・東部地域での**定住を促進**します

戦略目標



具体的な取組

働きやすくする

- 農産物等のブランド化・生産拡大の推進
- 「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進
- 漢方のメッカ推進
- 企業誘致の推進
- 地域の産業興し

暮らしやすくする

- ①健康、医療、福祉、介護の充実
- ②教育の充実
- ③子育ての支援
- ④買い物等の支援
- ⑤移動手段の確保
- ⑥文化の振興
- ⑦集落の維持・活性化

移り住んでもらう

- ①二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり
- ②二地域居住・移住を受け入れる拠点整備
- ③移住者の働く場の確保

いざというときに備える

- ①紀伊半島アンカールートの整備
- ②効率的・効果的な道路防災対策の推進
- ③土砂災害対策の推進と産地災害の予防と復旧
- ④河道整備
- ⑤災害に強い森林づくり
- ⑥災害に強い情報ネットワークづくり
- ⑦地震に強い地域づくり
- ⑧エネルギーの確保
- ⑨防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承
- ⑩紀伊半島大水害の復旧の完了

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（1）魅力を発見する、創る

◇取組内容

- 特色ある食と宿泊施設等の整備推進
- 美しい景観づくり
- 地域資源を活用した魅力づくり 他

【令和2年度 主な取組】

① 新 南部東部振興基本計画策定事業 【R2年度予算 23,800千円】

南部地域・東部地域のさらなる振興に取り組むため、「南部・東部地域振興基本計画」等を策定

② 新 みつえ高原牧場畜産団地整備事業 【R2年度予算 13,350千円】

東部振興と畜産振興を図るため、みつえ高原牧場を活用した畜産団地の整備に向けて、飼育に必要な用水の調査を実施

③ 制度融資（既存事業者による宿泊施設開業支援資金）

【R2年度融資枠 600,000千円】

宿泊施設を開始することにより事業の転換又は多角化を図ろうとする者、県内の既存宿泊施設事業者で新たに宿泊施設を開業しようとする者を対象とする資金

資金使途：設備・運転 融資期間：設備20年以内 運転10年以内
貸付限度額：280百万円 融資利率：1.975% 貸付枠：6億円

④ 奈良の彩りの推進 【R2年度予算 18,226千円】

- ・「なら四季彩の庭」づくり推進補助金
植栽計画エリア内において、植栽等による景観の向上に取り組む市町村や地元団体等に対し補助
対象：景観阻害要因の排除、玄関口や移動空間の魅力向上、眺望景観の向上等 山添村、黒滝村
- ・植栽協働管理推進事業
植栽計画のエリア内における植栽整備後の維持管理について、地元団体等との協働による取組を定着させるため、県整備箇所の維持管理を行う地元団体等に対し、奨励金や軍手等物品を支給
- ・（仮称）「なら四季彩の庭」づくり条例推進事業
市町村、地元との協働を推進し、モデル事業計画を策定するため、有識者の助言を活かしながらエリア別ワーキングを実施
- ・「なら四季彩の庭」づくりアドバイザーの派遣
- ・「なら四季彩の庭」づくり普及推進事業 「なら四季彩の庭」シンボルマークを使用したプレートを設置
- ・きれいに暮らす奈良県スタイル推進事業 きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナルの発行

⑤ 「吉野・高野・熊野の国」三県共同事業 【R2年度予算 1,383千円】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を活用し、三重県・和歌山県とともに誘客のための共同事業を実施

⑥ 滞在型観光推進事業 【R2年度予算 15,300千円】

- 滞在周遊型観光の拡大に向けた取組を展開
 - ・「祈りの回廊」パンフレット、インバウンド向けサイトページ等により南部・東部地域への誘客促進
 - ・「祈りの回廊」秘宝・秘仏特別開帳 ほか

◇ これまでの主な取組成果 ～令和元年度～ ◇

○みつえ高原牧場の活用

畜産交流拠点の整備に向けて、畜産拠点、試験研究、観光振興のそれぞれの計画について検討を実施



みつえ高原牧場

○農村資源を活用した農村地域づくり

魅力ある地域資源を活用した活動団体に対して、

- ①研修会の開催
- ②情報発信
- ③活動の支援 を実施

○宿泊施設への支援

- ・県内で宿泊施設を開業しようとする事業者に対し利子補給補助
既存事業者による宿泊施設開業支援資金 4件（南部東部1件）
- ・県内の既存宿泊施設の増築・改築及び設備の設置する宿泊事業者
に対し利子補給補助
宿泊施設増改築・設備整備支援資金 2件（南部東部1件）



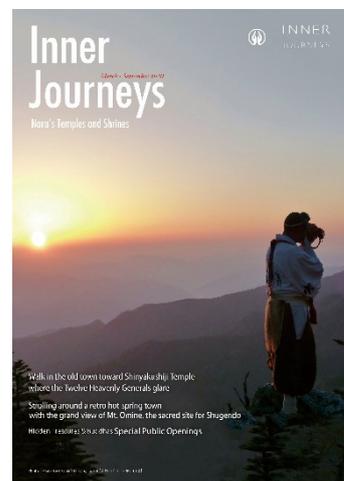
シャクヤク園 観光と生薬 @下市町
(栃原柿の里地域づくり協議会)

○明日香村の歴史的風土の創造的活用を図る事業を
支援するための交付金を活用した事業

- ・歴史的集落景観を創出するための建築物等の修景
- ・周遊バスの運行等観光基盤整備 等

○第5次明日香村整備計画策定事業

- ・「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」に基づき第5次明日香村整備計画を策定



祈りの回廊（インバウンド版）



既存事業者による宿泊施設開業支援資金活用事例
(所在地：十津川村)

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（２）知ってもらう

◇取組内容

○情報発信の強化

【令和２年度 主な取組】

① 奥大和との関わりの場創出事業【R2年度予算 17,679千円】

- ・首都圏等での奥大和地域関係者との交流イベント、雑誌社とのタイアップイベントを開催
- ・奥大和地域外の奈良県民を対象に、奥大和地域への関心を増加させるイベントを開催
- ・奥大和地域をフィールドとした移住体験ツアーの実施
- ・大学と連携した実践プログラムの実施

② 奥大和プロモーション事業【R2年度予算 44,183千円】

- 様々な媒体・手法を用いた奥大和の魅力発信
- ・大手旅行雑誌やスマートフォンアプリによる情報発信
 - ・奥大和地域を舞台とする映画制作補助
 - ・JR西日本や近鉄と連携した魅力発信 等

③ SNSによる「知られざる奈良の魅力」海外発信事業【R2年度予算 10,000千円】

- SNSを通じて知られざる奈良の魅力を海外に継続的に発信し、潜在的な訪奈良需要の喚起、誘客を促進
- ・SNSを活用したインバウンド誘客プロモーションの展開

④ 奥大和豊かな暮らし提案店舗展開事業【R2年度予算 24,250千円】

- 奥大和地域でつくられる家具をはじめとする木製品や食料加工品、生活用品等を一体的に展示し、販売する常設店舗の展開
- ・店舗設置に向けた構想案の策定
 - ・常設店舗展開に向けたポップアップストア開催
 - ・奥大和の製品の常設展示販売（テストマーケティング）

⑤ まほろばキッチン内観光案内所運営事業【R2年度予算 1,091千円】

- J Aならけんまほろばキッチン内の観光案内所において、県中南和・東部地域を中心とした観光案内を実施

⑥ 奈良県観光キャンペーン事業【R2年度予算 260,000千円】

- 社寺等と連携したイベントやプロモーションの展開、誘客促進のための旅行商品造成や商談会を実施

⑦ 欧米豪マーケティングエージェンシー連携事業【R2年度予算 10,000千円】

- 欧米豪の個人旅行客誘致促進に向け、現地メディア等に精通したエージェンシーと連携し、効果的なプロモーションを展開
- ・欧米豪主要メディアへの深度の高いセールス
 - ・現地の旅行情報源を活用し、県内各地の周遊・滞在につながる「体験型の旅」を発信

◇ これまでの主な取組成果 ～令和元年度～ ◇

○大手旅行雑誌等への広報

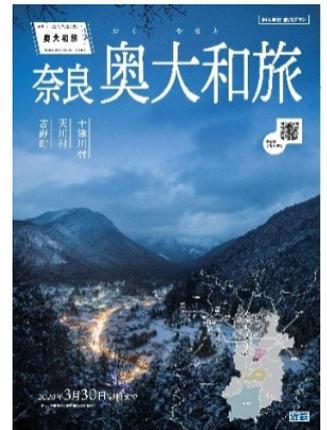
- ・旅行雑誌「じゃらん」の関西・中国・四国版 8月号、
全国版「大人のちょっと贅沢な旅(春夏号)」への広告掲載
- ・スマートフォンアプリ「週刊じゃらん」特集ページ
- ※雑誌と連動した制作・配信



じゃらん（8月号掲載記事）

○鉄道事業者と連携し、奥大和地域の魅力を発信

- 近畿日本鉄道株式会社との連携
 - ・「秋」「冬」の奥大和をテーマに旅行商品化、移住促進ポスターの制作
- JR西日本との連携
 - ・旅行商品の造成・広報パンフレット、魅力発信ポスターの制作
 - ・「駅プラン」の設定
 - ・誘客・周遊促進アプリ「ココシルなら奥大和」の導入
 - ・奥大和観光PRイベントの開催
(11月30日～12月1日 JR奈良駅構内)



奈良県×近鉄 旅行商品

○大手百貨店による連携プロモーションを実施

- ・「奈良・奥大和のものづくり」展開催
(5月22日～28日於 阪神百貨店梅田本店)



阪神百貨店との連携プロモーション

○奥大和地域での起業や移住に関心を持つ関係人口を創出

- 講座やインターンシップを通じて、地域での起業プランを作成する「奥大和アカデミー」を開催。都市部の若年層と奥大和地域との関係人口を創出

○首都圏において旅行商品説明会・商談会を実施

- 首都圏の旅行会社等を招聘し、県内社寺との意見交換会を実施



奈良県観光キャンペーン商談会



奥大和アカデミー

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（3）訪れてもらう、体験してもらう

◇取組内容

- スポーツイベントの開催
- 音楽・芸術イベントの開催
- 地域資源を活用したイベントの開催
- 交通アクセスの支援
- 誘客促進の仕掛けづくり 他

【令和2年度 主な取組】

①奥大和の特色を活かしたイベント事業【R2年度予算 17,846千円】

奥大和地域で住民や県内外から様々な人が参画して開催される地域の特色を活かしたイベントの開催等

②Kobo Trail 開催事業

弘法大師の道を活用したトレイルランニングイベント「Kobo Trail 2020」の開催

令和2年5月16日～17日（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会開催を中止）

③サイクルスポーツイベント開催支援事業【R2年度予算 7,740千円】

サイクルスポーツ及び地域の振興を図るため、地勢等を活かしたスポーツイベントの開催経費の一部を負担（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止）

・ツアー・オブ・奈良・まほろば

時期 令和2年8月22日～23日

場所 宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村、東吉野村、奈良市

・山岳グランフوندin吉野

時期 令和2年7月12日

場所 五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、上北山村、川上村、東吉野村

・ヒルクライム大台ヶ原since2001

時期 令和2年9月13日

場所 上北山村（大台ヶ原ドライブウェイ）

④直轄道路事業費負担金（南部・東部）【R2年度予算 4,780,000千円】

事業実施箇所

- ・京奈和自動車道、大和御所道路
- ・国道168号 長殿道路、風屋川津・宇宮原工区
- ・国道169号 伯母峯峠道路

⑤「うまし奈良めぐり」推進事業【R2年度予算 29,000千円】

オフシーズンに全国からの誘客を促進するため、県内社寺や市町村等と連携して特別感ある旅行商品を造成するとともに、全国の旅行会社等での商品展開を図り、奈良の夏・冬の魅力を全国に発信

- ・県内社寺等における特別企画イベントの実施
- ・鉄道事業者やWEB等の広報媒体を活用した広域広報
- ・専用パンフレットの制作

◇ これまでの主な取組成果 ～令和元年度～ ◇

○奥大和の特色を活かしたイベントを開催

- ・WSMAアーティスト・イン・レジデンス（11月2日～10日）
アーティストが一定期間滞在しながら芸術作品を制作
来場者数 2,803人
- ・えんがわ音楽祭 in 洞川（9月28日～29日）
来場者数 1,602人 / 宿泊者数 125組320人



WSMA(アーティストインレジデンス)

○弘法大師の道を活用したトレイルランニングレース

- 「Kobo Trail 2019」の開催（5月18日～19日）参加者：205名
- ・KtoK(金峯山寺～金剛峯寺) 55.7km 参加者 144名
- ・DtoK(洞川温泉～金剛峯寺) 43.2km 参加者 61名



ツアー・オブ・奈良・まほろば

○サイクルスポーツイベント開催支援

- 「山岳グランfondin吉野」
（7月14日）参加者：359名
- 「ツアー・オブ・奈良・まほろば」
（8月24日～25日）参加者：334名
- 「ヒルクライム大台ヶ原since2001」
（9月8日）参加者：737名



ヒルクライム大台ヶ原since2001

○地域の特色を活かした市町村等が実施するイベントを支援

- ・キッズバスフィッシングスクール（下北山村）
- ・吉野権現祭り
- ・Kobo Trail-トレイルランニングクリニックin五條
- ・鬼フェス in 吉野山

○奈良スタディサイクリング開催事業（奈良県立大学提案事業）

- ・次世代を築く若者が奥大和地域の魅力や文化を知り、地域住民との交流を図る周遊型サイクリングイベントを実施
- ・大学生対象イベント①（6月23日）参加者：18名
- ・大学生対象イベント②（9月26日～27日）参加者：16名
- ・中高生対象本番イベント（10月19日～20日）
参加者：中高生7名、大学生16名



奈良スタディサイクリング開催事業